

# 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育部 学校教育推進室 平成 27 年 11 月 6 日  
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 1 番 1 号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標  
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
  - 総合的視点に立つ教育の推進
  - 人間尊重に徹した人権教育の実践
  - 信頼に応える学校園経営
  - 学校園・家庭・地域の協働

## 11月は児童虐待防止推進月間です 「もしかして」あなたが救う小さな手

平成 26 年度、東大阪市の児童虐待対応件数は 735 件で、前年度の 656 件と比べ大幅に増加しています。全国的にも児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加しています。特に子どもの生命が奪われるなど、重大な事件も後を絶たない状況であり、社会全体で解決すべき重要な課題となっています。児童虐待は、子どもの心と身体に大きな傷を残し、周りにいる大人に気づいてもらえない場合、さらに傷は深まります。また乳幼児期より虐待をうけて育った子どもは、情緒・行動面にさまざまな影響を及ぼします。虐待の発生子防、早期発見・早期対応から虐待を受けた子どもの自立に至るまでの切れ目のない総合的な支援が必要です。

こうした状況の中で、学校園は日常的に子どもと接する機会が多く、言動や健康状態、出席状況、服装など子どもの変化に気づきやすい立場にあり、虐待を早期に発見することができる重要な役割を担っています。そして、次代を担う子どもたちが安心して、健やかに成長できる社会を構築するためには、関係機関等と連携した積極的な取り組みが求められています。

児童虐待の根を絶ち、「すべての児童は、心身ともに、健やかに生まれ、育てられ、その生活を保障される」と児童憲章に謳われているように、すべての子どもを虐待から守る必要があります。

### 児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。



児童虐待とは・・・

身体的虐待	殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せ、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレクト	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう (DV) など

### 東大阪市相談窓口

大阪府東大阪子ども家庭センター	06-6721-1966
(休日・夜間)	072-295-8737
東福祉事務所 (東家庭児童相談室)	072-988-6619
中福祉事務所 (中家庭児童相談室)	072-960-9274
西福祉事務所 (西家庭児童相談室)	06-6784-7982

### 11月の児童虐待防止推進月間にあわせて、子育て講演会が開催されます

(東大阪市要保護児童対策地域協議会)

日時: 11月26日(木) 午後2時~3時30分  
会場: 東大阪市立男女参画センター イコーラムホール  
講師: 立命館大学教授 陰山 英男先生  
テーマ: 「子どもの幸せのために 今、親がすべきこと」  
~子どもを伸ばす7つの習慣~

申込・お問い合わせ先:  
東大阪市子どもすこやか部子ども見守り課  
電話 06-4309-3197 FAX 06-4309-3817

# インフルエンザの予防を!!

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。



## 1. インフルエンザと風邪のちがい

・インフルエンザと風邪は、のどの痛みや咳（せき）などよく似た症状がありますが、インフルエンザは、38℃以上の発熱があり、喉の痛みや咳などの局所症状だけでなく、頭痛・関節痛・筋肉痛などの全身症状がでる、急激に発症するなど、症状も流行の時期も違います。

## 2. 感染経路

- ①飛沫感染・・・感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出し、それを別の人が口や鼻から吸い込んで感染する
  - ②接触感染・・・感染者がくしゃみや咳などを手で押さえ、手にウイルスがつく。その手で周り物に触れ、それを別の人が手で触りウイルスが感染する
- ・インフルエンザを予防するためには、この感染経路を絶つことが重要です。



## 3. インフルエンザから身を守るために

### ①正しい手洗い

ウイルスは石けんに弱いので、帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに石けんで手を洗いましょう。



### ②ふだんからの健康管理

免疫力が弱っていると、インフルエンザに感染しやすくなります。また、感染したときに症状が重くなってしまうおそれがあります。ふだんから、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。

### ③適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、喉の粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度(50%～60%)を保つことも効果的です。

### ④予防接種を受ける

予防接種(ワクチン)は、インフルエンザが発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぐ効果があります。重症化しやすい方は、医師と相談して予防接種を受けることも考えてみましょう。



### ⑤人混みや繁華街への外出を控える。

インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

(出典:政府広報オンライン)

# 体験して学ぼう！環境教育出前講座

東大阪市では、環境部と教育委員会が共同して環境教育出前講座を実施しています。今年度は10月末現在で41校園において43回実施しました。パッカー車の仕組みを実際に見ながらごみ処理の流れを学んだり、ペットボトルのキャップを再利用してエコアートを作ったり、分別収集とリサイクルの流れを学んだり、様々なメニューの中から、各校の選択に合わせて講座を実施しています。

子どもたちにとって、体験的に環境について学び、持続可能な社会のために自分たちが取り組めることを考える良い機会となっています。

## 小阪小学校での取り組み



ゲストティーチャーのお話。



パッカー車の中はどうなっているかな。



中でごみをプレスする様子も見られます。



最後に運転席にも乗ってみよう。